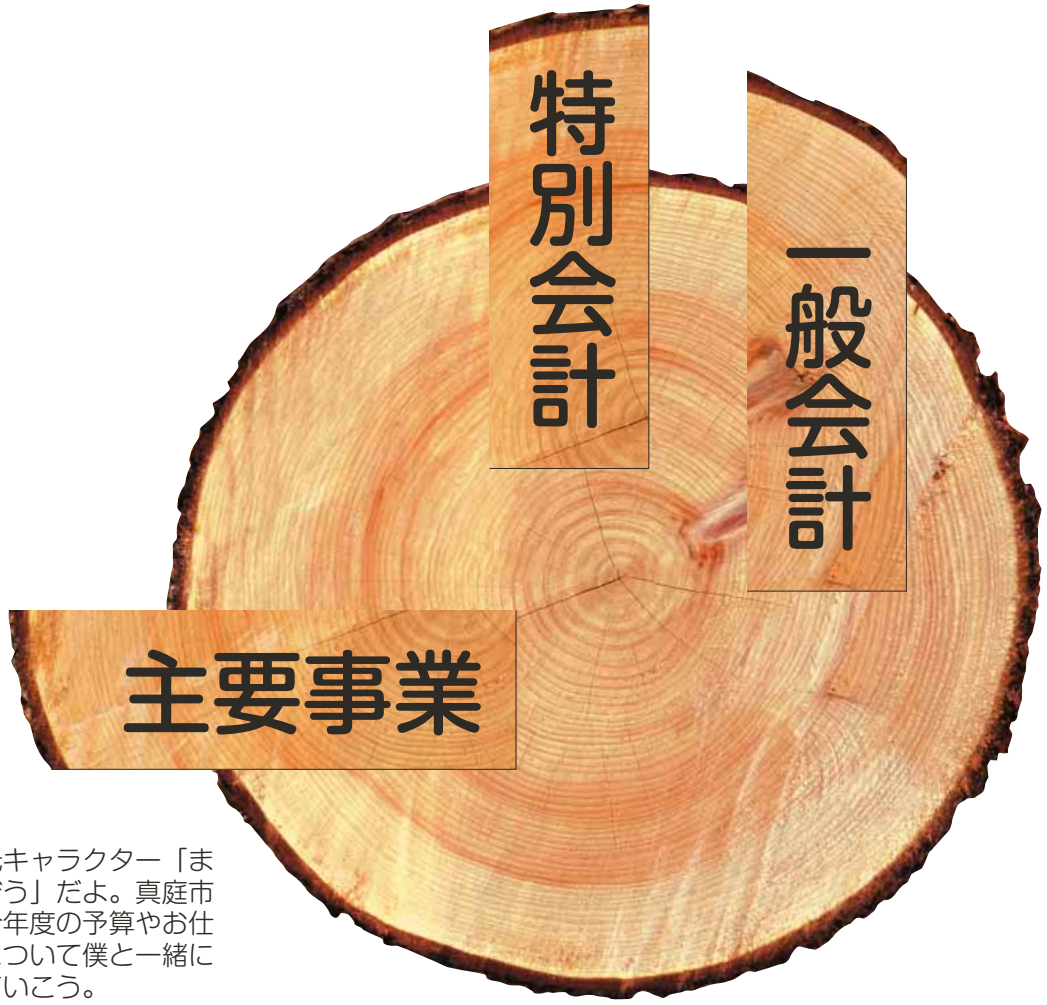
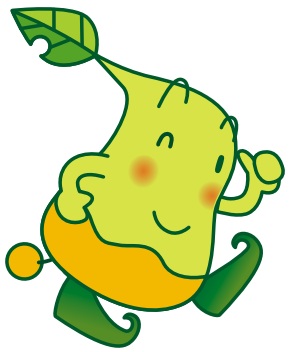
真庭市のお金の使い道

広報真庭別冊
平成24年度
予算の概要

仕事

今年度の予算 切り取ってみよう





観光キャラクター「まにぞう」だよ。真庭市の今年度の予算やお仕事について僕と一緒に見ていこう。

お金の使い道からみる

今年の真庭のお仕事

当初予算は、一般会計予算で対前年度比９億4,342万円(3.3%)増の292億6,142万円となりました。今年度も地域経済の再生や雇用の増大に重点を置きながら、子育て支援や福祉の充実、教育環境の整備などにも力を入れた予算となっています。２年目を迎える真庭市総合計画の後期基本計画に掲げる６つのまちづくり基本計画に沿って、活力に満ちた住みよい真庭の実現を目指します。予算号では、大きく「一般会計」「特別会計」「主要事業」の３つを上げて今年度の予算を詳しく紹介し、これから１年間のお金の出入りや、真庭市が積極的に進めていく施策などについてお伝えします。平成24年度予算の前に、まずは真庭市の財政状況の確認をしてみましょう。自治体の財政状況を分析するために役立つのが財政指標。直近決算の財政指標から見える財政の健康状態の確認からスタートします。

◆起債と財政調整基金の残高

⇒真庭市の借金と貯金

起債とは、将来必要となる公共施設や道路の建設などのために借り入れるもので、自治体の借金といえるものです。財政調整基金とは、財源に余裕がある年に積み立てて、不足する年に取り崩すことで財源を調整し計画的な財政運営を行うための貯金のことです。

[起債残高と財政調整基金残高の推移]

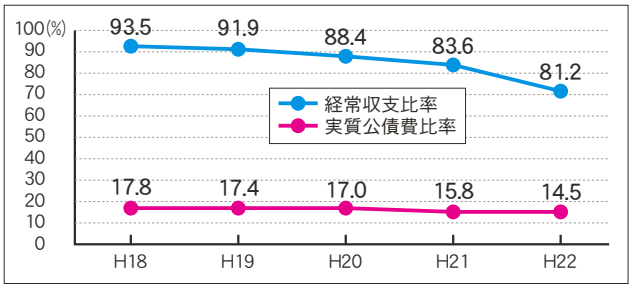
年度	起債残高(真庭市全会計)	財政調整基金残高
平成17年度	700億755万円	36億9,662万円
平成18年度	717億5,252万円	42億2,624万円
平成19年度	717億8,398万円	48億7,405万円
平成20年度	698億1,598万円	55億8,105万円
平成21年度	675億1,594万円	72億382万円
平成22年度	664億8,708万円	88億2,630万円

借金が664億ってすごい金額。でも、借金が減って、貯金が増えてきているということだね。

◆経常収支比率と実質公債費比率

⇒財政の弾力性と借金の負担

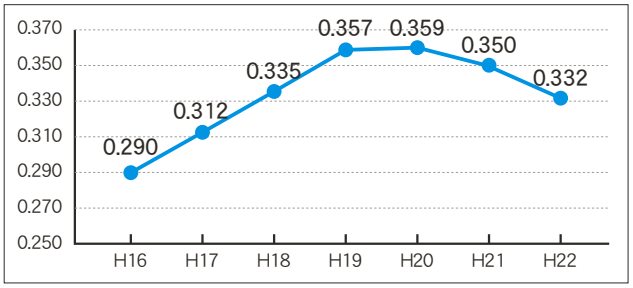
経常収支比率とは、毎年度経常的に使う経費(人件費、扶助費、公債費など)が予算のどれくらいを占めているかを表したものです。数値が小さいほど財政の弾力性が大きく、自由に使えるお金が多いといえます。また、実質公債費比率とは、自治体の収入に対して公債費(借金返済額)がどれくらい占めるかを表したもので、数値が小さいほど健全財政であるといえます。



徐々に数値が下がってきているからひと安心。でも地方交付税はだんだんに減っていくので油断は禁物。

◆財政力指数

自治体の財政力の強弱を示す指数で、数値が大きいほど自主財源の割合が高く、１に近い(あるいは１を超える)ほど財政に 余裕があるとされています。

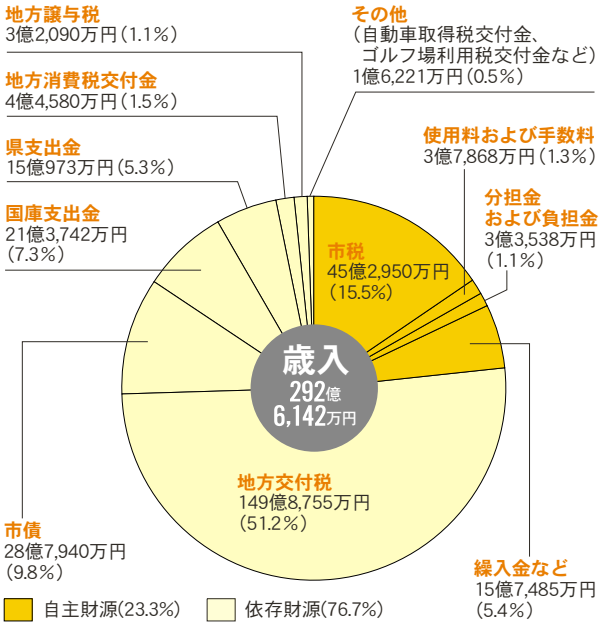


真庭市の財政力は弱いのかな。でもその改善のために行政改革をしてスリム化や効率化を進めているんだ。真庭市が大きく育ちますように。

真庭市の 一番大きな お財布
一般会計

ここでは、真庭市で一番大きなお金が出入りする会計の一般会計を見てみましょう。総額は292億6,142万円で、昨年より9億4,342万円(3.3%)の増額になっています。歳入は性質別、歳出は性質別、目的別のグラフで見ていきます。

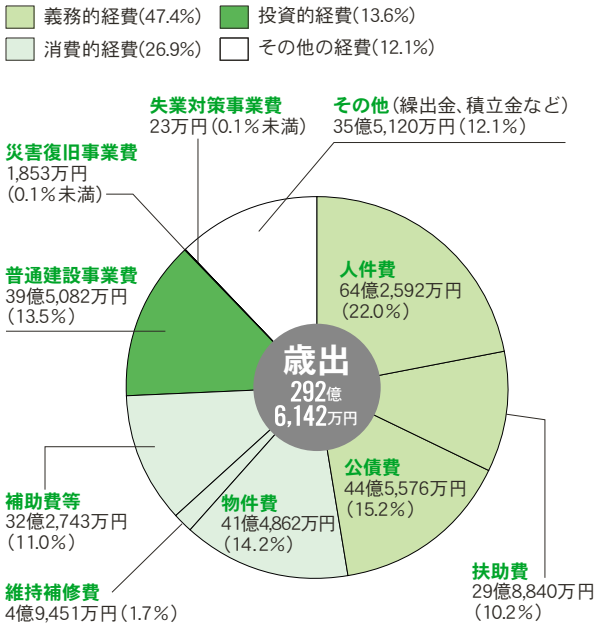
歳入 性質別グラフ



自主財源は約23%

一般会計の歳入は自主財源と国や県などに頼った依存財源に分けられます。自主財源が多いほど、安定しているといえます。真庭市は自主財源が歳入全体の約23%、昨年度とほぼ同じ割合で、多くを国などに依存しています。自主財源の大半を占める市税は、法人市民税と固定資産税の減額などで、前年度比5.1%の減、使用料および手数料は、真庭ひかりネットワークの利用料金制移行により利用料が減額となり40.7%の減。依存財源の大半を占める地方交付税は、6.2%の増となっています。

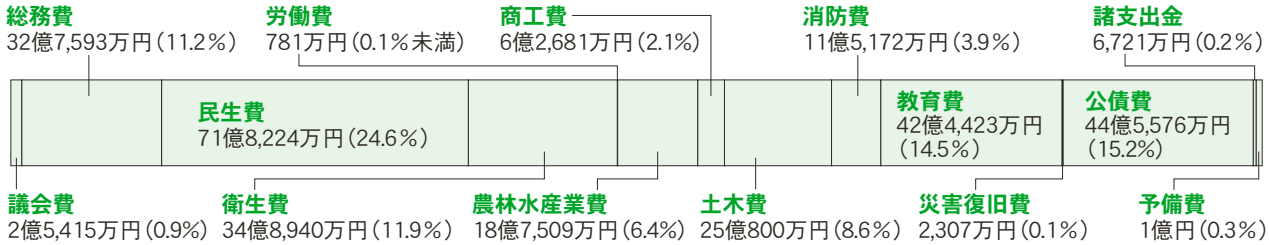
歳出 性質別グラフ



投資的経費増の歳出

性質別と目的別の2つのグラフは、共に一般会計の歳出を表したグラフです。性質別では、普通建設事業費が学校施設の新改築などにより29.1%の増、繰出金は介護保険特別会計などへの繰り出し増により4.6%の増。人件費が職員数の減少により1.4%の減、補助費等は美作地区消防指令センター運用開始などで5.3%の減となっています。目的別では、衛生費が火葬場施設整備などで9.7%の増、教育費は15.0%の増、消防費は消防指令センター完成などで10.4%の減となっています。

歳出 目的別グラフ

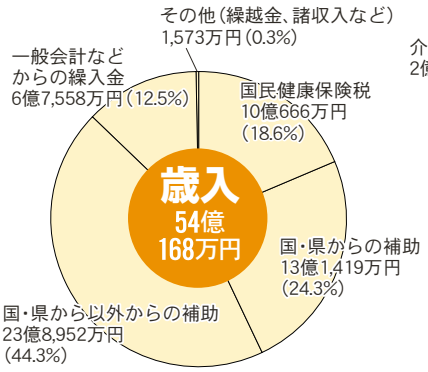


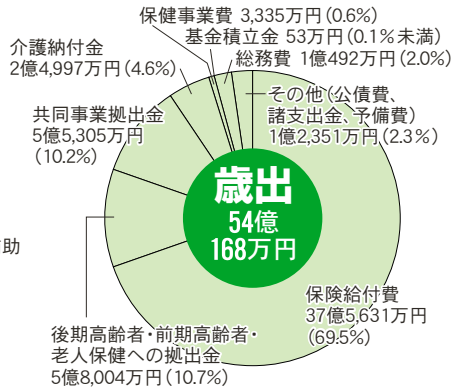
他にもいろんなお仕事がある
特別会計

一般会計とは別に、特定の仕事のために使うお金は特別会計、公営企業会計で事業を行っています。特別会計も12の会計に分かれていて、それぞれの目的以外には使わないことになっています。主な事業をグラフで見てみよう。

国民健康保険事業　54億168万円（0.7%）

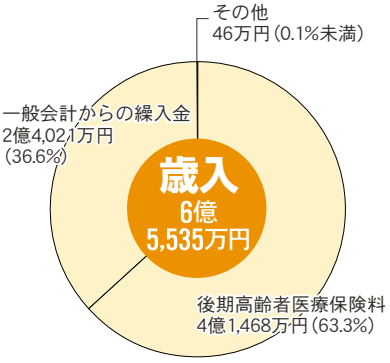
国民健康保険に加入している人が病気やけがで診療を受けたとき、医療費の一部を負担します。市ではこの事業で特定健康診査などを行うほかに、被保険者の健康づくりや療養環境の向上のための事業を行います。

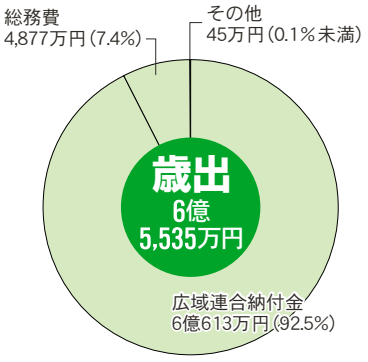




グラフの歳入の部分を見てみよう。みんなが納める保険税、保険料、使用料や負担金が含まれているよ。みんなが納めたお金が、いろんな事業に使われているんだね。納め忘れがないようにしないとね!

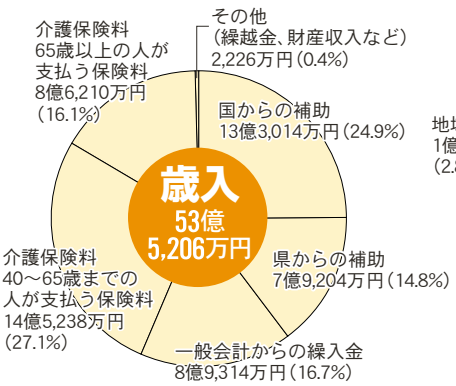
後期高齢者医療事業　6億5,535万円（1.7%）

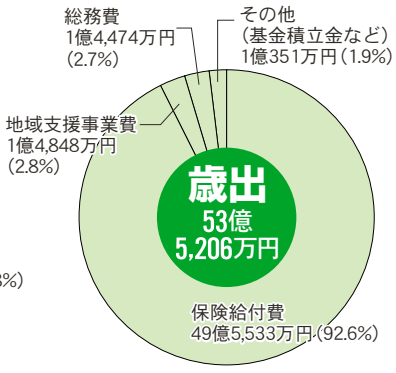




75歳以上の人は、高齢者の医療の確保に関する法律で医療の給付を受けることができます。この制度の運営は、岡山県後期高齢者医療広域連合が行っていて、市は保険料の徴収や各種申請などの窓口業務を行っています。

介護保険事業　53億5,206万円（9.3%）

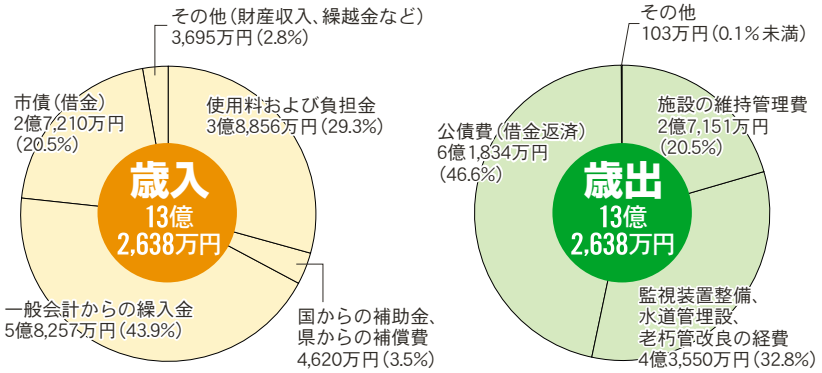




介護保険は、介護や支援が必要となった被保険者に介護サービスや介護予防サービスなどを提供することで、被保険者と家族を支援する制度です。サービス費用のうち、本人負担を除いた費用を事業者などに支払います。

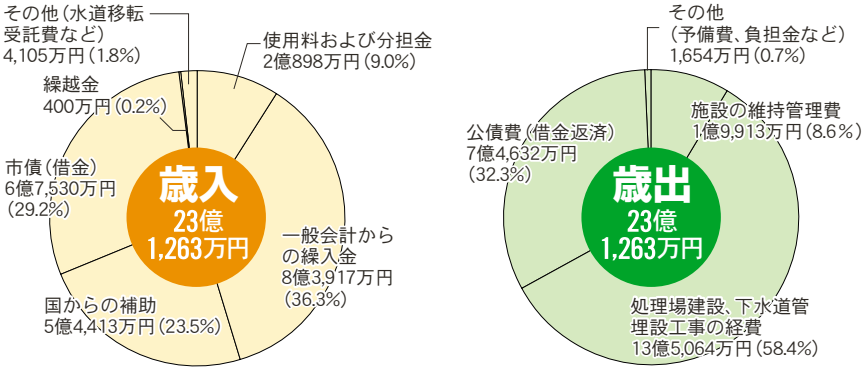
簡易水道事業　13億2,638万円(3.4%)

簡易水道は給水人口が100人を越え、5,000人以下である施設をいいます。市では現在21の簡易水道施設などがあります。水道の健全なる普及運営を目指して、施設の維持管理を行うとともに、未普及の地区にも水道を引くことができるよう頑張っています。



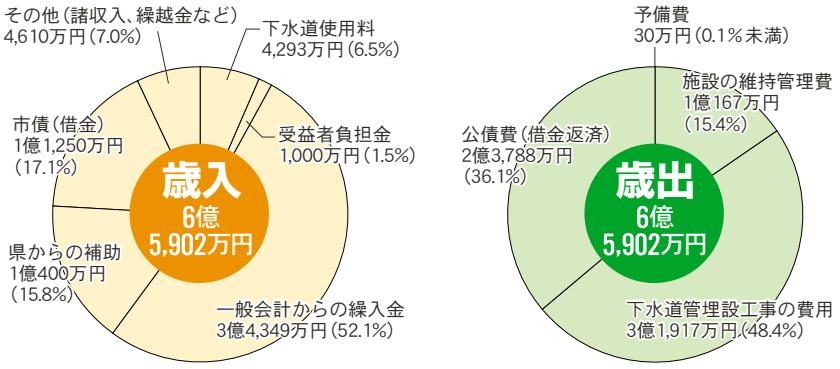
公共下水道事業　23億1,263万円(△6.6%)

公共下水道は、現在、久世、勝山、美甘、八束、川上、中和地区で供用されています。施設の維持管理と下水道が使える地域を広げる工事（管布設・終末処理場建設）を進めているので、たくさんのお金が必要になります。



農業集落排水事業　6億5,902万円(7.8%)

農業集落排水事業は農業振興地域の下水道で、農業用排水の水質保全や農業集落の生活環境の改善、保全を目指しています。現在、北房、落合、勝山、八束、中和地区で供用しています。各施設の維持管理費と、北房地区では管布設工事に取り組みます。



※各会計予算額のかっこは前年度当初予算との比較。円グラフ内のかっこは歳入歳出総額の比率です。

その他の特別会計

介護保険特別会計
〔介護サービス事業勘定〕
6,572万円(1.9%)
要支援１、２の人へ介護予防サービスを行う会計。

浄化槽事業特別会計
1億4,908万円(9.1%)
下水道の事業区域外で浄化槽を設置する事業。

分譲宅地事業特別会計
6,791万円(5.1%)
市が所有する宅地（しらうめ団地ほか）を分譲する事業。

津黒高原観光業特別会計
7,681万円(64.2%)
津黒高原荘、周辺のスキー場、キャンプ場などを運営する会計。スキー場圧雪車購入、レストハウス屋根修繕工事などで大幅増。

クリエイト菅谷事業特別会計
2,388万円(366.5%)
美甘地区の農村型リゾートを運営する会計。美甘ドーム周辺舗装やトイレの増設工事などで大幅増。

温泉事業特別会計
1億1,700万円(△27.2%)
配湯施設の維持管理や湯原ふれあい交流センター、足温泉館を運営する会計。

公営企業会計

農業共済事業特別会計
3億69万円(△3.2%)
農作物、家畜、果樹、畑作物、園芸施設共済を行う事業。事故によって生じた損害に対して共済金を交付します。

水道事業会計
10億7,639万円(7.3%)
給水人口が5,000人を超える施設をいいます。真庭市では現在３つ（久世、勝山、落合）の上水道施設があります。

国民健康保険湯原温泉病院事業会計
23億439万円(24.9%)
湯原温泉病院を運営する会計。

ここからは
主要事業です

真庭市では「賑わいと安らぎの杜の都　真庭」を目標とし、安心して豊かに暮らせるまちづくりを進めています。その実現のために優先的に実施していくのが主要事業。真庭市総合計画、基本計画の６つの体系に沿って、平成24年度の主要事業を紹介します。

Ⅰ. 地域資源を活かした産業のまちづくり

地域の広域的な立地条件や多様な地域資源を活かしつつ、産業間の連携強化と人・もの・情報の交流の活性化を図り、他の地域とはひと味違った環境にやさしい産業の振興による“豊かな『杜市（とし）』づくり”を目指します。

真庭あぐりネットワーク推進事業

農林振興課

真庭市場は新鮮野菜などを求める買い物客で大にぎわい

市内直売所間をつないだ農産物輸送を開始し、直売所の品揃え強化と農家からの出荷促進を図ります。また、昨年度に続いて農畜産物直売所「真庭市場」を大阪府高槻市に出店。農畜産物の販路拡大と認知度アップを図るほか、観光拠点としても位置づけて、情報発信や都市住民との観光・交流事業も進めます。

昨年度、大阪に出店した真庭市場は新鮮な野菜や果物を求めるお客さんで大人気でした。今年度は８月から４カ月出店する予定だよ。

1,977万円
【財源】
県の補助ほか　143万円
市の負担　1,834万円

耕作放棄地再生事業

農林振興課

再生可能な耕作放棄地を選定し、農協などと協力しながら、市内中核農業者や集落営農組織などへの貸し付けを進めます。また、市内外の企業に対しても農業参入を促し、耕作放棄地の解消を図ります。

246万円
【財源】
県の補助　246万円
市の負担　──万円

特産品開発調査事業

農林振興課

真庭市農林業技術者連絡協議会に委託し、特産品開発に取り組みます。薬草など里山にある地域資源の研究や集落営農組織の特産品開発をサポートするなど、付加価値の高い特産品開発を進めます。

375万円
【財源】
県の補助　375万円
市の負担　──万円

公有林整備事業

農林振興課

市有林の適切な整備をする事業です。主に下刈や間伐などの保育のほか、作業道や作業路の開設を行います。今年度は、下刈107ha、収入間伐70ha、作業路の開設6,000mを予定しています。

1億4,262万円
【財源】
国・県の補助ほか　1億1,663万円
市の負担　2,599万円

林地残材利活用促進事業

農林振興課

間伐しても搬出されず山林に放置されている未利用材の有効活用を図る事業です。山林から指定の中間集積地まで運び出す運賃の一部を補助します。補助額は1㎥あたり1,000円です。

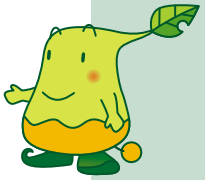
500万円
【財源】
――万円
市の負担　500万円

森林整備地域活動支援交付金事業

農林振興課

森林が持つ多面的な機能を発揮できるよう森林整備を進めます。施業集約化や作業路網の改良活動など、持続可能な森林経営に取り組む活動に対して支援し、間伐の促進などを図ります。

伐採・搬出にはまず作業道などの開設が必要



国土保全や水源のかん養、地球温暖化防止など、森林はいろんな力を持っているんだよ。

7,026万円
【財源】
県の補助　5,260万円
市の負担　1,766万円

木材需要拡大事業

農林振興課

真庭産材の需要を高めるための事業です。市内製材所で製材した国産乾燥材を８㎥以上使用するなど、一定の条件を満たす木造新築住宅に、１戸あたり60万円を補助します。

2,100万円
【財源】
立木売払収入　700万円
市の負担　1,400万円

企業誘致臨時対策事業

商工観光課

企業誘致を進めるために、立地情報の収集や営業などを行うスタッフ１名を雇用。岡山県大阪事務所を拠点として、ニーズ調査や戦略的な営業、さまざまな業種への情報発信を行います。

749万円
【財源】
県の補助　719万円
市の負担　30万円

商工業振興対策事業費補助金

商工観光課

市内の施工業者による住宅改修に対して補助をする「住宅リフォーム補助金」や、「起業支援事業補助金」「個店の魅力アップ推進事業補助金」などを今年度も実施し、地域経済活性化を進めます。

4,811万円
【財源】
――万円
市の負担　4,811万円

観光施設整備事業

商工観光課

真庭市が所有する観光施設を整備するための事業です。平成24年度は、観光客が、滝の近くまで進むことができるよう神庭の滝自然公園内の遊歩道整備を計画しています。

2,658万円
【財源】
市債　2,500万円
市の負担　158万円

市内商工業者を支援します

事業を始めたい！改善したい！と思ったら

○起業支援事業補助金
独創性・発展性をもって起業する人に、その経費の一部を支援します。

○個店の魅力アップ推進事業補助金
新改築などによる店舗の魅力づくりや空き店舗の活用などの経費の一部を支援します。

リフォームをしたい！と思ったら

○住宅リフォーム補助金
市内の施工業者で住宅の改築や改修などを行う場合に、上限20万円で補助対象経費の１/10を補助します。

主要事業

観光臨時管理費（ソフト事業）

商工観光課

新たな観光資源を使ったチャレンジツアーなどのほか、真庭市の応援団「真庭市観光サポーターズ倶楽部」のネットワークを活用した観光ＰＲ事業に重点的に取り組みます。

3,136万円
【財源】
県の補助　3,136万円
――万円

観光客誘致推進事業

商工観光課

観光パンフレットやホームページなど各種媒体で真庭の情報を全国に発信します。また、「コンベンション等誘致事業」の活用を積極的に、観光客などの誘致を進めます。

1,831万円
【財源】
――万円
市の負担　1,831万円

大会・会議・修学旅行などを真庭市へ呼ぼう!

―コンベンション等開催補助金―

真庭市では、市内の会議場やホールなどコンベンション施設の有効活用や観光（宿泊）客誘致を目的として「コンベンション等開催補助金」を用意しています。

[補助要件]
―定規模以上の大会や会議、修学旅行など市内で開催されるもの
[補助対象経費]
宿泊費、バス代・レンタカー代

補助金額は内容や規模によって異なります。詳しくは、商工観光課へお問い合わせください。

各種負担金（観光臨時費）

商工観光課

観光イベントなどを開催するための負担金です。「美作国建国1300年記念事業」や「海の市・山の市」などの大きなイベントを開催し、真庭の魅力を全国へ発信します。

1,648万円
【財源】
ふるさと市町村圏振興事業負担金　230万円
市の負担　1,418万円

バイオマス産業創出事業

バイオマス政策課

真庭バイオマスラボの運営費やバイオマス産業の人材育成に係る経費です。バイオマスラボでは、木質の微粉砕技術の開発や用途開発に向けた研究が進んでいます。

1,055万円
【財源】
ラボ使用料　55万円
市の負担　1,000万円

木質バイオマス利用開発推進事業

バイオマス政策課

木質バイオマス（薪やペレットなど）を燃料とするストーブや農業用ハウスのボイラの購入の一部を補助して、木質バイオマスの利活用を推進しています。

260万円
【財源】
――万円
市の負担　260万円

イベントのご案内

グリーン・フェスティバル

10月3日㈬～7日㈰・久世エスパス
［主催］真庭市産業サポートセンター

真庭地域の「農」「林」「商工」が一堂に集まり、研究や体験、交流などを通じて、真庭の産業を未来へつなぐイベントを開催します。

郷土料理教**室**
酪農体**験**
森林体**験**講演**会**

地産池消フェア
農商工セミナー
高校生研究発表
バイオマスツアー

開催期間中は、業種や世代を問わず誰でも参加できるメニューが盛りだくさんです。

真庭の農業や林業をみつめる週間になりそうだね。グリーンってことは、僕も活躍できるかなー。

農商工連携等推進事業

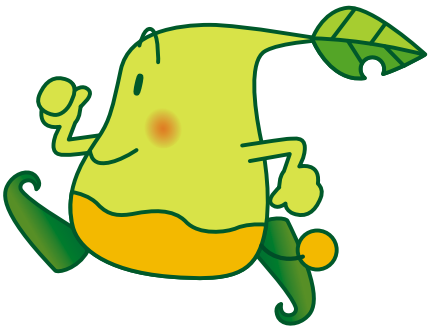
バイオマス政策課

真庭市産業サポートセンターの運営費、事業者が連携した商品開発やビジネスモデル創出などを支援するための委託費です。平成24年度は「グリーン・フェスティバル」の開催費も含まれています。

1,128万円
【財源】
――万円
市の負担　1,128万円

Ⅱ. 交流・連携を支える

まちづくり



市民が安全で快適な暮らしと効率的な産業活動を推進するため、交流と連携が進む都市基盤を整備して、“発展する『杜市（とし）』づくり”を目指します。

道路新設改良事業（単独・補助）

建設課

「道整備交付金事業」で西原下見線ほか１路線、過疎対策として五反東線ほか13路線、辺地対策として奥谷鰻田線ほか１路線、市単独で片山線ほか８路線を整備します。

5億4,050万円

【財源】

国の補助・市債	46,355万円
市の負担	7,695万円

過疎バス対策費

市民課

真庭市コミュニティバス「まにわくん♡」の37路線を運行するための経費です。利用料金は距離に関わらず１路線につき一般（中学生以上）が200円、小学生が100円です。

まにわくん♡に向かってバイバーイ！

たまにはノーマイカーでお出かけしてみては。ちょっと違った風景が見られるかもしれないよ。

1億1,290万円

【財源】

バス利用料ほか	3,167万円
市の負担	8,123万円

除雪経常管理費

建設課

降雪期における交通や安全を確保するための除雪に係る経費です。除雪作業委託料のほか、除雪車両の修繕費です。市では、市道と一部の生活道を除雪しています。

1億438万円

【財源】

国・県の補助	1,565万円
市の負担	8,873万円

市営住宅建設事業

都市住宅課

久世地区の住宅（高瀬住宅）の建て替えなどを進めるための事業費です。今年度は、住宅地の造成工事と建築設計を行います。（建替工事は平成25年度で完了予定）

7,108万円

【財源】

国の補助	1,000万円
住宅使用料	4,514万円
市の負担	1,594万円

都市計画業務委託料

都市住宅課

勝山・久世・落合の都市計画区域は統合され、真庭都市計画区域となりました。区域内の用途地域などの調査を行い、旧町から引き継いだ都市計画を見直していきます。

600万円

【財源】

	―万円
市の負担	600万円

Ⅲ.安心して暮らせる
まちづくり

市民が家庭や地域でよろこびや幸せを感じながら、健康で安心して生活できるよう保健・福祉・医療の総合的かつ継続的なサービスの充実を図るとともに、災害に強いまちづくりや交通安全対策の充実など“人にやさしい『杜市』づくり”を目指します。

主要事業

不妊症･不育症対策支援事業

健康推進課

不妊症および不育症（妊娠しながらも胎児が育たず流産や早産を繰り返す症状）の人への支援として、保険外治療費の一部を補助します。平成24年１月から一部の治療が保険適用になっています。

250万円
【財源】
――万円
市の負担　250万円

健康増進事業 各種がん検診事業

健康推進課

がん予防と早期発見を推進するために、がん対策基本法に基づいて、各種の検診を行います。乳がん検診、子宮がん検診、大腸がん検診については、クーポン券を対象の人に送りますので受診してください。

3,068万円
【財源】
国の補助ほか　655万円
市の負担　2,413万円

予防接種事業

健康推進課

各種予防接種の費用です。真庭市では独自に、幼児・学童のインフルエンザ、75歳以上の肺炎球菌の予防接種費用の助成をしています。そのほか子宮頸がん、ヒブなどの予防接種費用助成もあります。

1億1,042万円
【財源】
県の補助　877万円
市の負担　1億165万円

子育てや健康づくりに
保健だよりをお役立てください！

平成24年度に真庭市が行う各種検診の日程や予防接種、その他健康づくりのあれこれについて詳しく紹介しています。誰もが安心して健康に暮らすためのガイドブックです。４月に各戸に配布していますので、お役立てください。

○**親子の健康づくり**
子育て応援、予防接種、子どもの健康診断・育児相談
○**成人の健康づくり**
各種検診・がん検診、特定健康診査・後期高齢者健康診査
国保人間ドック、げんき輝きづくり支援事業
医療機関ガイド
○**病気や事故の緊急対応**
「子どもの急な病気や事故で困ったら」
「真庭市ＡＥＤ設置一覧」
など

各地域で日程を決めていろんなことをやっているんだね。しっかり活用しないと。

高齢者地域生活あんしん創出事業

高齢者支援課

認知症などで判断力の低下した高齢者の権利擁護や虐待防止を目的とし、地域で安心して暮らせるネットワークづくりや市民後見人を養成する講座などを行います。

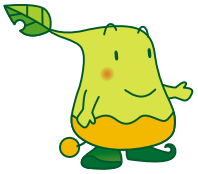
546万円
【財源】
光をそそぐ基金　460万円
市の負担　86万円

保育園共通臨時管理費

子育て支援課

保育園内の施設・設備（空調、厨房機器など）を整備したり、図書を購入したりする経費です。子どもたちが明るく健やかに育つための環境整備を進めます。

4月に開園した勝山こども園


僕も真庭の子どもたちが、のびのびと成長することを願っているよ。

1,282万円
【財源】
――万円
市の負担　1,282万円

放課後児童健全育成事業

子育て支援課

授業終了後や土曜日、長期休暇に、仕事などで昼間保護者が家にいない家庭の子どもを専用施設で預かり、育児と仕事の両立を支援する「放課後児童クラブ」の活動を推進する事業です。現在、真庭市内には９つの放課後児童クラブがあります。

放課後児童クラブ・さくらんぼ（久世）

4,089万円
【財源】
県の補助　2,436万円
市の負担　1,653万円

乳幼児・児童生徒医療費給付事業

市民課

子育ての支援として、０歳から中学校卒業までを対象に医療費用の自己負担分の無料化を実施しています。特に小学校就学後は市が独自で支援しています。

2億2,795万円
【財源】
県の補助　3,121万円
市の負担　1億9,674万円

障害者福祉臨時管理費

福祉課

ＮＰＯ法人が真庭市内の福祉作業所などと連携をとりながら、共同受注や情報提供、アドバイス、販路の拡大などの事業を行うことを支援していきます。

1,595万円
【財源】
光をそそぐ基金　1,490万円
市の負担　105万円

自立支援給付費

福祉課

障がいのある人が自分らしく自立した生活が送れるような地域社会を目指して、介護給付、訓練等給付、自立支援医療および補装具の自立支援給付などの支援を行います。

8億4,319万円
【財源】
国・県の補助　6億4,767万円
市の負担　1億9,552万円

障害児通所給付費

福祉課

障がいのある児童が施設に通所するための支援を行います。（障がい児支援強化の一環として、平成24年４月から実施主体が県から市町村になりました）

432万円
【財源】
国・県の補助　322万円
市の負担　110万円

地域生活支援事業（福祉関連）

福祉課

障がいのある人や家族の悩みに対応できるよう、コーディネーターによる相談体制を整備します。発達障がいも支援計画の作成やケース会議などの相談支援も行っています。

5,283万円
【財源】
国・県の補助ほか　2,151万円
市の負担　3,132万円

地域生活支援事業（健康推進関連）

健康推進課

社会参加できにくい人が気軽に集える場としてサロンを開設します。また、精神に障がいのある人に低額な料金で生活の場を提供する福祉ホーム事業などを行います。

743万円
【財源】
国・県の補助ほか　332万円
市の負担　411万円

市有財産臨時管理費

管財課

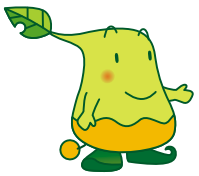
在宅障がい児者の日常生活支援の拠点施設とする「旭川荘真庭療育センター（仮称）」建設の準備に向けて、旧湯原温泉病院の施設解体工事を行う経費などです。

1億751万円
【財源】
市債　9,900万円
市の負担　851万円

常備消防施設臨時管理費

消防本部

災害・救急情報の一元化や広域連携の消防・救急を目指し、美作地区の３つの消防署（真庭市・美作市・津山圏域消防組合）が消防通信指令事務の共同運用（消防救急無線デジタル化）を開始しました。その運用に係る経費です。



119番通報をしたら津山の指令センターにつながるようになったんだね。

運用が開始された美作地区消防指令センター

3,191万円
【財源】
市債　2,550万円
市の負担　641万円

建築物耐震診断・改修事業

都市住宅課

木造住宅の耐震診断・補強設計費用の一部を補助します。耐震診断は構造的強度を調べ、安全性や地震で受ける被害の程度を判断するものです。今年度から改修についても補助をします。

290万円
【財源】
国・県の補助ほか　217万円
市の負担　73万円

災害対策施設等整備費

危機管理課

屋外で作業中や移動中でも緊急時の行政告知放送が聞けるように、屋外防災告知放送塔を整備します。今年度は２カ所新たに設置する予定です。

540万円
【財源】
―万円
市の負担　540万円

災害対策臨時管理費

危機管理課

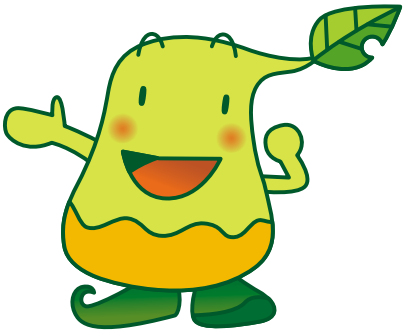
地域防災計画の策定、指定避難所の表示看板設置、土砂災害・洪水ハザードマップ（災害予測図）の作成など、災害に備えた整備をします。また、地震や津波などの自然災害、テロなど有事の際に国から自治体に情報を伝達する全国瞬時警報システム（J-ALERT）と市の告知放送を連動する予定です。

市役所に設置されているJ-ALERT

1,891万円
【財源】
―万円
市の負担　1,891万円

Ⅳ. 環境と共生した
まちづくり

豊かな自然環境の魅力を維持・継承し、誰もが郷土への愛着を持ち、安心で快適な潤いのある生活環境の整った“環境にやさしい『杜市』づくり”を目指します。



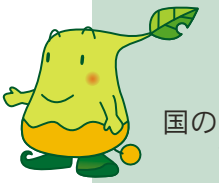
自然環境保全事業

環境課

豊かな自然を体感できる津黒いきものふれあいの里

地域連携保全活動計画策定に向けた調査や国内クレジット制度を活用した環境保全事業を行います。真庭の豊かな自然や生物多様性を発信し、環境にやさしいまちづくりを市民や企業と一体となって進めます。また、タンチョウを飼育する専門員の育成も行います。

㈱トンボさんたちと一緒に津黒高原などで環境保全活動をしていくんだ。



1,151万円
【財源】
国の補助ほか　1,041万円
市の負担　110万円

タンチョウサブセンター整備事業

環境課

観察会の開催や野外調査などを通じて、野外動植物保護に関する理解や環境に対する意識の高揚を図っていくため、タンチョウサブセンターを蒜山地域に整備します。

5,436万円
【財源】
県の補助ほか　2,763万円
市の負担　2,673万円

地球温暖化対策事業

環境課

地球温暖化対策の１つとして、環境家計簿を活用することでCO_2排出量の見える化を進めます。また、住宅用太陽光発電システム設置に対する補助を行います。

1,485万円
【財源】
――万円
市の負担　1,485万円

はてな 国内クレジット制度

国内クレジット制度とは、中小企業や自治体などがCO_2（二酸化炭素）を削減する設備を導入し、大企業などがその削減したCO_2を排出権（クレジット）として買い取る制度です。

真庭市は、本庁舎のバイオマスボイラ運用で削減したCO_2をバイオマスタウン真庭推進パートナーとなった㈱トンボと真庭観光連盟に売却。これらの企業と共同で里山整備などの環境保全を進めていきます。

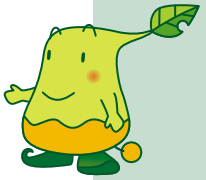
家庭ごみ資源化促進事業

環境課

昨年度行われた冬季分別収集リサイクル実験

クリーンセンターが処理する量のうち、生ごみは推計で年間約2,300t発生おり、可燃ごみ全体の2割を占めています。ごみの減量化を目指した取り組みとして、昨年度から、生ごみのリサイクル利用をモデル地区を設けて実証しています。今年度も引き続きモデル地区を拡大して実験を継続していきます。

生ごみの資源化実験は平成23年度から着手。堆肥などでの活用を探っているんだ。



309万円
【財源】
――万円
市の負担　309万円

火葬場施設整備事業

環境課

火葬場整備計画を策定し、真庭火葬場（久世）の測量設計や粗造成工事、火葬炉メーカー選定などを行います。また、北部火葬場（蒜山）の新たな建設場所の選定を行います。

7,700万円
【財源】
市債　6,930万円
市の負担　770万円

墓地公園整備事業

環境課

近年墓地の需要が増えており、旧久世町が整備に向けて進めてきた鳩ヶ平墓地の詳細設計を行います。（第1期造成工事は平成25年度から始まる予定です）

690万円
【財源】
――万円
市の負担　690万円

簡水改良施設整備事業（簡易水道事業特会）

水道課

安心・安全対策として、落合地区の天津浄水場改良工事、湯原地区の老朽管改良工事など実施します。また、水道災害などの緊急時に対応できるように給水車を導入します。

1億3,930万円
【財源】
国の補助・市債ほか　1億660万円
市の負担　3,270万円

飲用水供給施設整備事業（簡易水道事業特会）

水道課

水道未普及地域の解消に向けて、引き続き落合地区（杉成、本郷宮木、佐引中・溝ヶ畝、赤谷・柳、中河内）の飲用水供給施設整備工事とボーリング調査などを実施します。

2億2,000万円
【財源】
市債・地元負担金　1億9,470万円
市の負担　2,530万円

終末処理場建設費（公共下水道事業特会）

下水道課

昨年度から継続して、落合浄化センターの建設を進めます。終末処理場とは、下水の不純物質を最終的に処理して（取り除いて）放流し、河川環境を守るための施設です。

4億865万円
【財源】
国の補助・市債　3億9,553万円
市の負担　1,312万円

公共下水道事業（公共下水道事業特会）

下水道課

下水道供用開始区域の拡大に向けて、久世・勝山・落合処理区の管路整備や勝山地区（本郷）実施設計をするほか、昨年度に続いて久世中継ポンプ場の建設を行います。

8億9,105万円
【財源】
国の補助・市債ほか　8億6,460万円
市の負担　2,645万円

V. 人と文化を育む

まちづくり

学校・家庭・地域が連携して子どもの心豊かで健やかな成長を育むとともに、自然・景観・歴史・文化等の地域資源を活かしながら、様々な交流を通じて“豊かな人間性と郷土に根差した文化を育む『杜市』づくり”を目指します。

小学校施設整備事業

教育総務課

市内の小学校を耐震診断をして、十分な耐震性が認められない施設について、新改築や耐震補強の工事を行っています。今年度は、八束小学校校舎新改築の後期工事のほか、木山小学校、川東小学校、月田小学校、湯原小学校で校舎・屋体などの耐震補強工事設計（補強工事は平成25年）を行う予定です。また、富原小学校・呰部小学校のプール改修工事も行います。

建設が進む八束小学校校舎新築工事

6億7,853万円
【財源】
国の補助・市債ほか　6億1,377万円
市の負担　6,476万円

中学校施設整備事業

教育総務課

中学校でも十分な耐震性が認められない施設について、今年度は、蒜山中学校校舎と屋体の新改築工事、落合中学校校舎と屋体の新改築工事の実施設計（建設工事は平成25年）を行います。

8億1,310万円
【財源】
国の補助・市債ほか　7億6,845万円
市の負担　4,465万円

きめ細かな指導で教育の充実を

35人学級編成

平成24年度、岡山県下の小学校では１・２年生の35人学級編成が進められます。

真庭市では、より充実した教育環境を整備するために、市独自で小学校３・４年生と中学校１年生でも35人学級編成を実施します。

少人数学級の導入は、教員の目が行き届く教育環境とすることで、学力向上や生徒指導の充実、いじめ・不登校問題の解決などが期待されています。

教育ネットワーク整備事業費

学校教育課

子どもたちが使うパソコンなどの整備や、真庭ひかりネットワークを利用した教育環境「真庭子ども育みネットワーク@スクール」を構築し、教育の充実を図ります。

6,496万円
【財源】
――万円
市の負担　6,496万円

遠距離通学支援事業

学校教育課

通学条件の整備をするため、市内小・中学校のスクールバスやスクールタクシーを運行するなどし、遠距離の登下校をする児童・生徒の通学を支援します。

1億2,423万円
【財源】
国の補助　45万円
市の負担　1億2,378万円

生涯学習推進事業

生涯学習課

文化活動やスポーツ活動など、さまざまな世代の人に学習機会の場の提供や支援を行っています。各地区で行われる生涯学習講座や講演会などの費用も含まれています。

828万円
【財源】
利用負担金ほか　62万円
市の負担　766万円

社会体育推進補助金

生涯学習課

生涯を通してスポーツに親しんでもらうため、地域総合型スポーツクラブや体育協会、スポーツ少年団、地区の運動会や各種スポーツ大会などを支援します。

2,172万円
【財源】
──万円
市の負担　2,172万円

文化財保護臨時管理費

生涯学習課

真庭市の豊かな伝統文化の口承を目的として、真庭市の住民が方言そのままに生き生きと語った昔話や伝説をまとめた「真庭市の民話・第三巻」の刊行などを行います。

242万円
【財源】
──万円
市の負担　242万円

伝統文化振興補助金

生涯学習課

国指定重要無形民俗文化財の「大宮踊」などの保存継承や、岡山県指定文化財の「木山神社本殿」や「箸立天神伊吹ひば」の保存修理などの活動を支援します。

933万円
【財源】
──万円
市の負担　933万円

スポーツ文化支援事業

生涯学習課

スポーツ人口拡大や指導者の資質向上を目指し、トップアスリートを招いてのスポーツクリニックや親子体操教室などを行います。また、美作国建国1300年記念事業のプレイベントとして「まにわ民俗芸能の祭典」や「シンポジウム・まにわの山城と戦国時代」などを開催し、市民の皆さんが文化芸術活動に参加できるイベントを開催します。

専門家から学ぶスポーツクリニック

664万円
【財源】
ふるさと真庭応援基金　50万円
市の負担　614万円

人権教育推進事業

生涯学習課

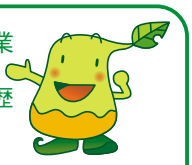
市民の皆さんが人権擁護活動に参加できるよう、市内各所で人権講演会を開催します。また、人権啓発作品（絵画、作文など）の募集を通して人権教育の推進を行います。

664万円
【財源】
県の補助　23万円
市の負担　641万円

イベントのご案内

2013年は
美作国建国1300年!

今年度、真庭市では独自記念事業（プレイベント）を開催するんだ。その一部を紹介するよ。真庭の歴史や魅力を再発見できるはず。



まにわ民俗芸能の祭典

7月29日㈯
勝山文化センター

大宮踊（国指定重要無形民俗文化財）をはじめ、市内各地の特色ある民俗芸能が一堂に会し、交流します。上演や体験などを通じて、魅力の再認識や更なる伝承につなげます。

シンポジウムまにわの山城と戦国時代

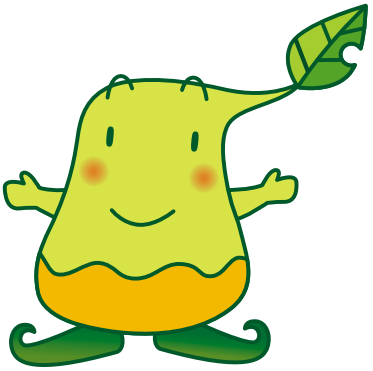
11月17日㈰
勝山文化センター

真庭市には100以上の中世山城や館跡が確認されています。現在調査を進めている高田城（勝山）をはじめとした市内山城のパネル展示や講演会、現地見学などを行います。

Ⅵ. みんなで築く

まちづくり

市民と行政との連携・協働による
“一体感のある『杜市（とし）』づくり”を目指します。



協働のまちづくり推進事業

総合政策課

市民活動の情報が集まる「市民活動支援プラザ」

住民主体・住民参加のまちづくりを進める事業です。地域自主組織の活動を支援する「魅力ある地域づくり事業補助金」や、「小規模高齢化自治会等支援事業」など地域活動の支援を行うための経費です。また、市民活動支援プラザの運営費（委託）なども含まれています。

市民活動支援プラザには会議やちょっとした講演会などに使えるスペースも。どんどん活用してくださいね。

7,917万円
【財源】
県の補助ほか　384万円
市の負担　7,533万円

庁舎建設事業費

総務課

落合支局の機能を持った複合施設の建設工事のため、設計や用水路の移転工事などを行います。落合地域のまちづくり拠点として、多機能・総合的な施設を目指します。

8,978万円
【財源】
国の補助・市債　5,834万円
市の負担　3,144万円

情報処理臨時管理費（電子自治体・行政情報化）

総合政策課

地域情報化の一環として、行政の事務手続きなどについてICT（情報通信技術）を有効活用し、市民の利便性の向上と行政運営効率化を進めるための経費です。

1億2,844万円
【財源】
情報化施設整備基金　5,376万円
市の負担　7,468万円

文書広報経常管理費

秘書広報課

広報真庭を発行するための経費です。広報真庭は市政の動きやちまたの話題、市民の皆さんの声など、地域の情報を毎月お届けします。お便りも募集しています。

1,210万円
【財源】
県委託料ほか　67万円
市の負担　1,143万円

機構改革などにより、
課室の連絡先が変わりました

近年多発する自然災害や社会情勢の目まぐるしい変化に迅速に対応し、安心安全なまちづくりを推進するため、４月１日から市役所組織機構の変更を行いました。平成24年度の組織数は、１管理者、20部局、１病院、41課となりました。主な変更点と連絡先をお知らせします。

問 総合政策課行政改革推進室
TEL0867-42-1179

▶本庁組織の主な変更内容

新名称	変更前	変更内容
市長直轄組織　危機管理課	総務部　総務課　危機管理室	市長直轄組織に危機管理監を配置し、危機管理室を総務部から移管し、危機管理課に名称変更
総合政策局　総合政策課　行政改革推進室	行政改革推進室	総合政策局を新設し、行政改革推進室と企画政策課を移管・統合し、総合政策課を設け、行政改革推進室を課内室として設置
	総務部　企画政策課	
市民環境部　環境課　地球環境対策室	—	環境課に地球環境対策室を新設

▶消防本部

- 消防本部
  - 消防長
    - 総　務　課
    - 警　防　課
    - 予　防　課
    - 消防署本署
      - 分署

消防本部　TEL0867-42-1190

▶湯原温泉病院

- 病院管理者
  - 院長
    - 湯原温泉病院
      - 診療所

湯原温泉病院　TEL0867-62-2221

出先機関を所管する本庁担当課

■教育委員会
- 学校教育課
  - 小・中学校

■市民環境部
- 環　境　課
  - 旭水苑
  - クリーンセンターまにわ
  - 北部クリーンセンター
  - 真庭火葬場

■健康福祉部
- 子育て支援課
  - 幼稚園
  - 保育園
  - こども園
- 高齢者支援課
  - ささぶき苑

平成24年度 真庭市組織機構図

《本庁》〒719-3292 真庭市久世2927-2　代表電話0867-42-1111（FAX1341）

▶本庁

- 議会 ― 事務局
- 監査委員 ― 事務局
- 固定資産評価審査委員会 ― 事務局（総務課）
- 選挙管理委員会 ― 事務局（市民課）
- 農業委員会 ― 事務局（農林振興課）
- 教育委員会 ― 教育長 ― 教育次長 ― 教育総務課／学校教育課／生涯学習課（スポーツ文化振興室）
- 市長 ― 副市長
  - 会計管理者 ― 会計課
  - 市長直轄組織 ― 危機管理課
  - 総合政策局 ― 総合政策課（行政改革推進室）（協働推進室）（情報推進室）
  - 総務部 ― 総務課／秘書広報課／財政課／管財課
  - 市民環境部 ― 市民課／税務課（国土調査室）／徴税課／環境課（地球環境対策室）
  - 健康福祉部 ― 福祉課／子育て支援課／健康推進課／高齢者支援課（地域包括支援センター）
  - 産業観光部 ― 農林振興課／農林土木課／商工観光課／バイオマス政策課
  - 建設部 ― 建設課／都市住宅課（建築営繕室）／水道課／下水道課

議会事務局	TEL0867-42-1272
監査事務局	TEL0867-42-1280
固定資産評価審査委員会（総務課）	TEL0867-42-1150
選挙管理委員会事務局（市民課）	TEL0867-42-1072
農業委員会事務局（農林振興課）	TEL0867-42-1676
■教育委員会	
教育総務課	TEL0867-42-1085
学校教育課	TEL0867-42-1087
生涯学習課	TEL0867-42-1094
（スポーツ・文化振興室）	TEL　〃
■会計課	TEL0867-42-1249
■市長直轄組織	
危機管理課	TEL0867-42-1126
■総合政策局	
総合政策課	TEL0867-42-1169
（行政改革推進室）	TEL0867-42-1179
（協働推進室）	TEL0867-42-1169
（情報推進室）	TEL　〃
■総務部	
総務課	TEL0867-42-1150
秘書広報課	TEL0867-42-1163
財政課	TEL0867-42-1167
管財課	TEL0867-42-1174
■市民環境部	
市民課	TEL0867-42-1112
税務課	TEL0867-42-1114
（国土調査室）	TEL0867-42-1028
徴税課	TEL0867-42-1115
環境課	TEL0867-42-1113
（地球温暖化対策室）	TEL　〃
■健康福祉部	
福祉課	TEL0867-42-1581
子育て支援課	TEL0867-42-1054
健康推進課	TEL0867-42-1050
高齢者支援課	TEL0867-42-1074
（地域包括支援センター）	TEL0867-42-1079
■産業観光部	
農林振興課	TEL0867-42-1031
農林土木課	TEL0867-42-1096
商工観光課	TEL0867-42-1033
バイオマス政策課	TEL0867-42-5022
■建設部	
建設課	TEL0867-42-5033
都市住宅課	TEL0867-42-7781
（建築営繕室）	TEL　〃
水道課	TEL0867-42-1108
下水道課	TEL0867-42-1109

▶振興局・支局

- 蒜山振興局 ― 総務振興課（産業建設班）／市民福祉課（中和出張所）（川上出張所）／地域振興室
- 各支局 ― 総務振興課（産業建設班）／市民福祉課

蒜山振興局	TEL0867-66-2511
（中和出張所）	TEL0867-67-2111
（川上出張所）	TEL0867-66-3611
北房支局	TEL0866-52-2111
落合支局	TEL0867-52-1111
勝山支局	TEL0867-44-2607
美甘支局	TEL0867-56-2611
湯原支局	TEL0867-62-2011

※振興局・各支局の電話番号は代表番号を掲載しています。

＜用語解説＞

【一般会計と特別会計】

地方公共団体の会計には、一般会計と特別会計があります。一般会計は、基本的・全般的な経費を経理する会計で、特別会計は、特定の事業を行うために、特定の歳入･歳出を一般会計と区別して経理するための会計です。

【歳入】

自主財源：市税、分担金、負担金、使用料、手数料、財産収入、寄付金、繰入金、繰越金および諸収入など自主的に収入しうる財源

依存財源：地方交付税、国庫支出金、地方譲与税、地方特例交付金、地方債など国や県の意思決定により収入される財源

市税：市民の皆さんに納めていただく税金（市民税、固定資産税、たばこ税、軽自動車税など）

地方交付税：地域間の財政力の不均衡を調整し、一定水準の行政サービスを提供できるようにするために、国が一般財源として配分する税

市債：市の借入金で償還（返済）が 2 年以上に渡るもの

国庫支出金・県支出金：市町村が行う各種事業に対して国・県から交付されるお金

【歳出】

人件費：議員報酬や職員給与など

物件費：賃金、旅費、交際費、需用費など消費的性質をもつ経費

扶助費：社会保障制度の一環として、生活困窮者、高齢者、児童、心身障がい者などに対して行っているさまざまな支援に要する経費

補助費等：市から他の団体などに対して行政上の目的で支払う経費

普通建設事業費：道路や公共施設の建設事業の経費

災害復旧事業費：災害で被災したものを復旧するための経費

失業対策事業費：臨時的に就職の機会を与えることを目的に、失業対策事業などを行う経費

公債費：市の借金などを償還（返済）するための経費

積立金：財政運営を計画的にするため、財源変動に備えて積み立てる経費

繰出金：一般会計、特別会計、基金との間で相互に資金運用するための経費

広報真庭別冊
平成24年度
真庭市当初予算の概要

平成24年5月1日発行

−発行−
真庭市役所

−編集−
総務部秘書広報課
〒719−3292 岡山県真庭市久世2927−2
TEL0867−42−1163　FAX0867−42−1341